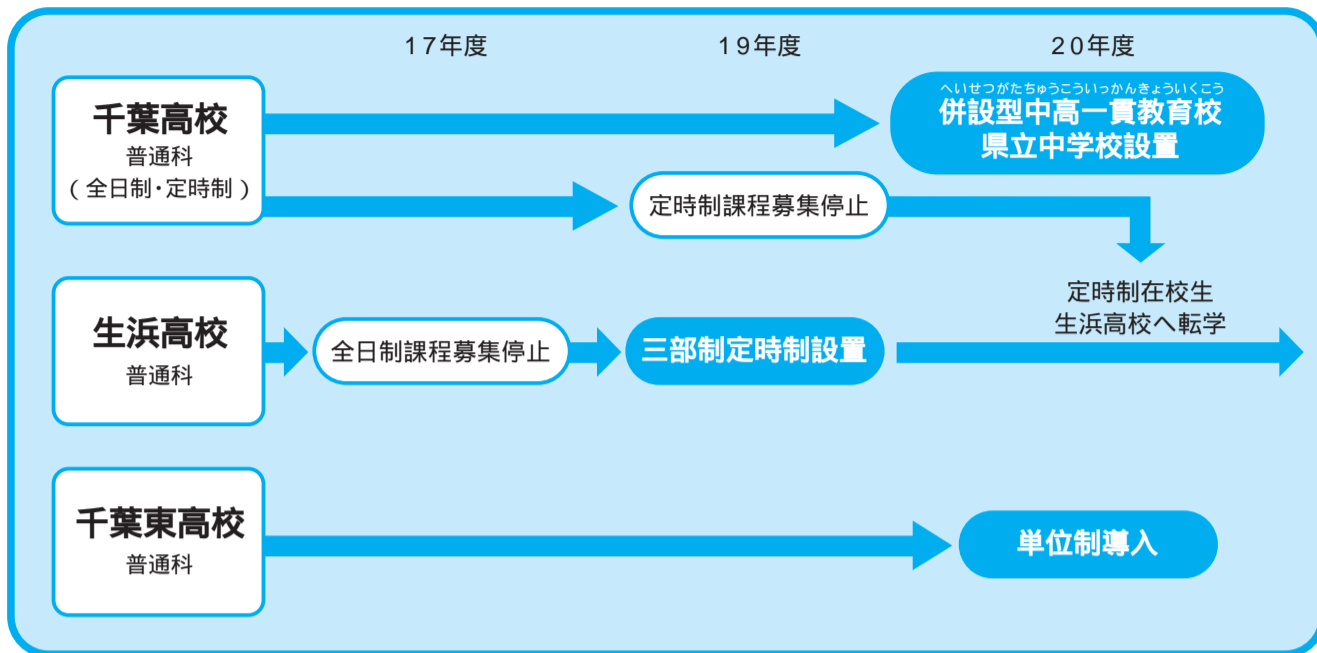


県立高等学校再編計画第2期実施プログラム案 《第1学区〔千葉〕版》

第2期実施プログラム案の概要

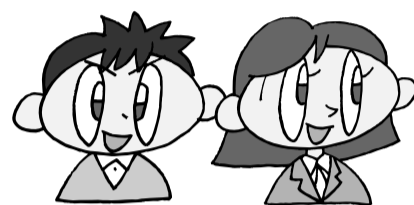


千葉高校については、平成20年度に新たに県立中学校を併置し、併設型中高一貫教育校とする案としました。

定時制の課程については、平成19年度に生徒の募集を停止し、平成20年度に在籍する生徒は生浜高校へ転学する案としました。

生浜高校については、平成17年度に全日制の課程の募集を停止し、平成19年度に単位制を導入した午前、午後、夜間の三部制で構成される三部制定時制高校とする案としました。

千葉東高校については、平成20年度に、学年の区分がなく、生徒が自ら科目を選択して学ぶことのできる単位制高校とする案としました。



再編対象高校 Q & A



併設型中高一貫教育校ってどんな学校？

中学校と高校の6年間を通して、継続的・計画的にじっくりと学ぶことができる教育活動が展開されます。年齢の違う生徒と幅広く交流する学校生活の中で、一人一人の個性が輝き、能力をいっそう伸ばすことができます。また、高校入試がないので、中学生の時から、よりいっそう得意なことや好きなことをがんばることもでき、それぞれの夢の実現をめざすことができる学校です。

Q 県立中学校に入学したいのですが？

A 併設型中学校には、県内のどこからでも入学を志願でき、学力検査以外の面接や作文などで入学生を決める予定です。

併設型中学校以外の中学生も、千葉高校へは、入学者選抜を受けて入学することができます。



Q 県立中学校入学者選抜のために、どのようなことが必要ですか？

A 中学校から高校の6年間を学び続ける目的とやる気大切です。小学校では、中学校受験のためではなく、毎日の勉強、運動や文化的な活動にがんばってください。学校、家庭、日常生活の中で身につけた力や適性を総合的に判断し、入学者を決める予定です。



三部制定時制高校ってどんな学校？

三部制高校は、これまで千葉県にはなかった新しいタイプの高校です。これまでの夜間定時制とは違い、1日12時間の授業展開をする単位制高校であり、午前部・午後部・夜間部のいずれかの部に所属し、部の授業を中心に学習します。単位制という仕組みにより進路希望に応じた学習や、生活スタイルに応じた学習ができる学校です。

Q 何年で卒業できますか？

A 他の部の授業も選択できるので、1日6時間分の授業を選択すれば、全日制と同じように3年で卒業できます。自分の在籍する部の1日4時間分の授業を受けた場合は4年で卒業です。

三部制高校でも、体育系や文化系の部活動や生徒会活動など、他の高校と同じように取り組むことができます。



Q どんな授業になるのですか？

A 基礎から大学受験向きまでの多様な科目が開講されます。自分の進路目的に応じて効果的に学習できます。また、時間割は自分で作っていきます。時間割を作るにあたっては、ガイダンスがあるので心配はいりません。



単位制って？

いままでの高校は学年制といって、生徒は学年ごとに定められた時間割に従って授業を受け、1学年 2学年 3学年と進級を認められて卒業します。単位制は、必ず学習しなければならない科目(必修科目という)以外は、各自が学びたい科目を選択し、自分専用の時間割を作り、3年間で学校が定める条件を満たせば卒業できる制度です。

Q 一人一人時間割が違うということは学級(ホームルーム)がないのですか？

A ホームルームもありますし、学級担任の先生もいますので、安心して学校生活を送ることができます。また、体育祭や文化祭、球技大会などの行事では、ホームルームの活動として取り組むこととなります。

第1期実施プログラムの単位制高校(総合学科を除く)
佐原白楊、幕張総合(15)
佐倉、長生 (17)
成田国際、松戸国際(18)
(数字)は導入年度

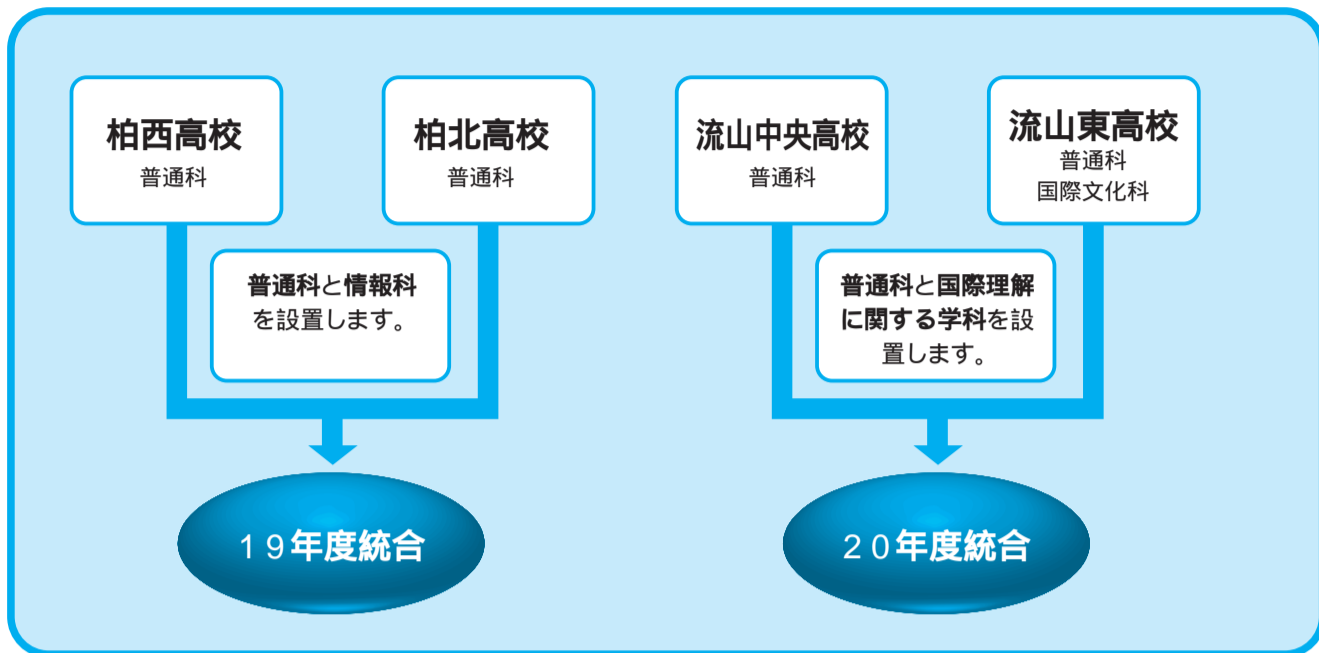
Q 選択した科目の授業はどこで受けるのですか？

A 小学校や中学校の音楽、理科などのように、それぞれの科目の教室や決められた場所に行って、授業を受けることになります。



県立高等学校再編計画第2期実施プログラム案 《第3学区「東葛飾」版》

第2期実施プログラム案の概要

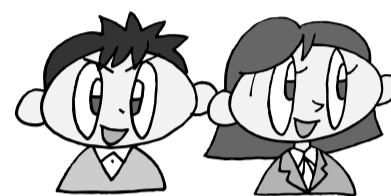


柏北高校・柏西高校の統合案では、普通科と県内初の情報科を設置し、きめ細かな学習指導を行うとともに、周辺の教育機関との連携を図る計画としています。

使用校舎は、柏西高校の校舎を予定しています。

流山東高校・流山中央高校の統合案では、普通科と国際理解に関する学科を設置し、国際理解教育を推進するとともに、一層幅広い選択科目を展開し、流山市をリードする進学を重視した高校とする計画としています。

使用校舎は、流山中央高校の校舎を予定しています。



再編対象高校 Q & A



第1期実施プログラムの再編で、今年の4月から関宿高校と野田市関宿地区の3中学校が連携型の中高一貫教育校になり、地域からの期待が寄せられているところです。また、野田高校と野田北高校では、平成18年度の統合に向けて準備が進められています。

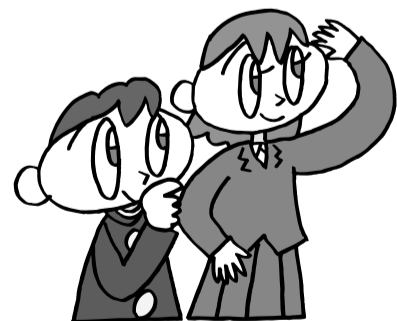


Q 「つくばエクスプレス」開業で人口が増えるのでは？

A 既に生徒数が減少しており、つくばエクスプレス沿線整備事業の県内計画人口約10万人全ての方が居住されても、再編後の高校で十分受け入れることができます。

Q 統合で近くの学校がなくなるのでは？

A 生徒が行きたい高校が、だいたい通学時間1時間程度の地域内にあるよう、様々なタイプの学校や学科の配置を考えています。



Q 第3学区で学校数が2校減ったら、受験が厳しくなるのでは？

A 第3学区ではピーク時の平成元年には、中学校卒業生数が15,976人でしたが、平成24年には半分以下の約7,800人になると見込まれます。その状況の中で、学校の適正規模を確保し、教育効果を維持するための統合です。このことで、受験が厳しくなることはないと考えています。

Q 再編後の学校名はどうなるの？

A 生徒・保護者・同窓生・地域の方々などの御意見を伺いながら、各学校にふさわしい校名を、今後、検討していきます。



Q 情報科では、どんな勉強するの？

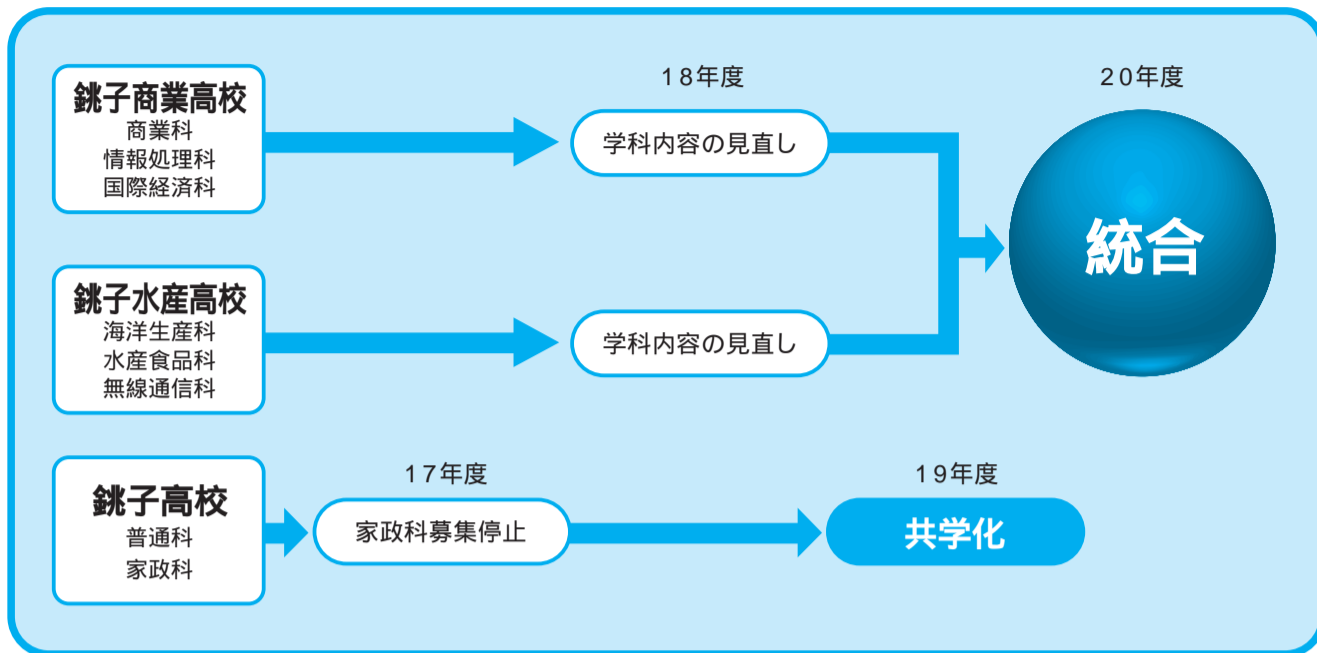
A 情報科は、高度情報通信社会を支える人材の育成を目標とする、新しい専門学科です。情報の意義や役割を勉強したり、アニメーションの制作や画像のデジタル処理など、体験的な学習をします。

Q 柏北高校と流山東高校の跡地はどうなるの？

A 現段階では白紙ですが、今後、地元等の意見を聞きながら活用方法等を検討していきます。

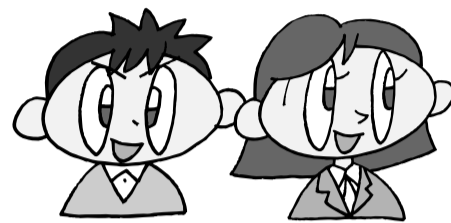
県立高等学校再編計画第2期実施プログラム案 《第5学区〔香取・海匠〕版》

第2期実施プログラム案の概要



銚子商業高校と銚子水産高校については、平成18年度に両校の学科を新たな商業と水産に関する学科に再構成するとともに、現在、勝浦にある情報通信に関する専攻科を銚子水産高校に移管、平成20年度に統合する案としました。

銚子高校については、平成17年度に家政科の募集を停止し、平成19年度から男女共学とする案としました。



再編対象高校 Q & A



第1期実施プログラムで共学化し、単位制を導入した佐原^{はくよう}白楊高校では、平成15年度から男子生徒が入学し、授業や部活動にこれまで以上の活気がみなぎっています。地域の方々からも学校のイメージが良くなったと評価をいただきました。

Q 銚子商業高校と銚子水産高校は、統合してどんな学校になるのかな？

A これまでの伝統を継承しながら、商業教育と水産教育を引き続き充実させ、両学科の枠を超えた選択も可能にし、幅広い学習にも対応できる新しい学校にしていきたいと思えます。



Q 銚子商業高校の校舎と銚子水産高校の校舎間の移動はどのようにするの？

A 時間割や日課等を工夫しながら、生徒が無理なく両校の校舎を利用し学習できるように検討していきます。



Q 水産の単独校は必要ないの？

A 水産高校は小規模校化しており、単独で存続するよりも、近隣の学校と統合することにより、活気あふれる高校生活が送れるものと考えています。

Q 共学になる銚子高校は、どんな学校になるの？

A 高校再編計画では、原則として女子校は共学化することとしています。
銚子高校については、家政科を廃止し普通科の単独校として、男子生徒にも魅力ある学校づくりを進めていきます。



Q 市立の2校も統合され、銚子市内の高校は2校減りますが、大丈夫なの？

A 生徒の募集定員については、毎年度各地域の中学校卒業生数や進路動向等を踏まえ適正な数を定めていますので、学校数が減っても心配ありません。



Q 再編後の学校名はどうなるの？

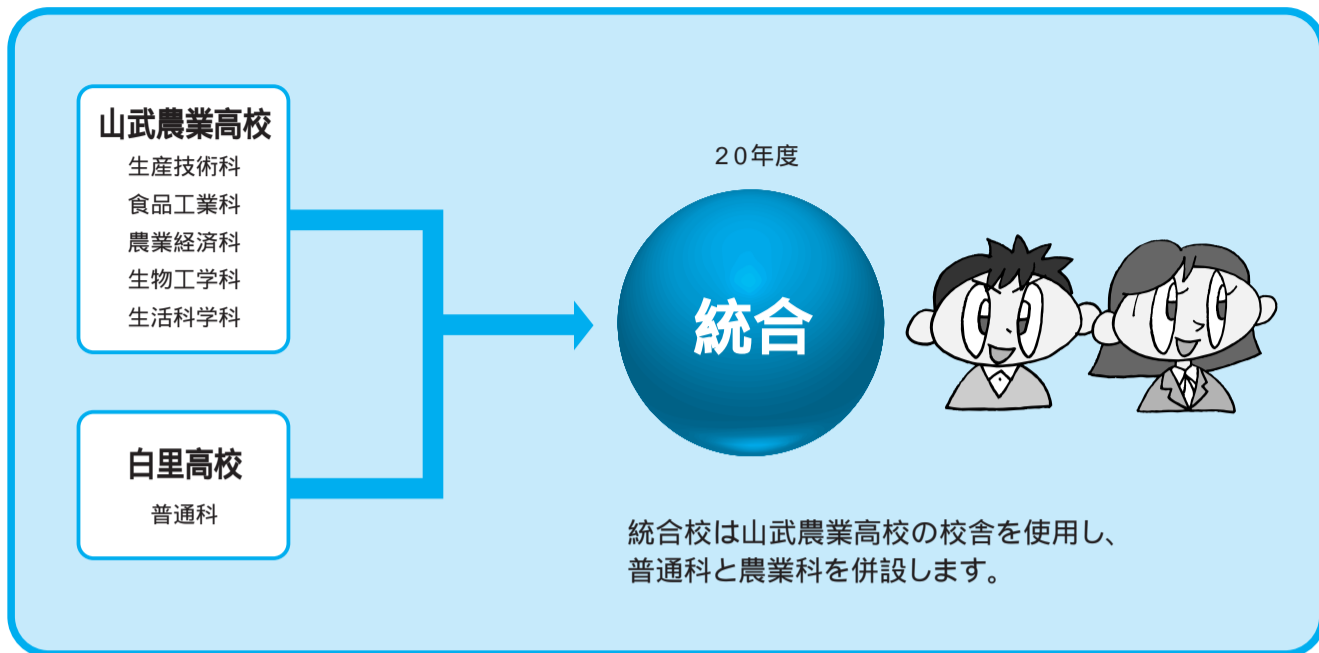
A 生徒・保護者・同窓生・地域の方々のご意見を伺いながら、各学校にふさわしい校名を、今後、検討していきます。

Q 第5学区の中学校卒業生数はどのくらい減るの？

A 第5学区の中学校卒業生は、平成元年3月には5,686人でしたが、平成15年3月には3,931人まで減少しました。今後もさらに減少をつづけ、平成24年3月には3,100人程度になるものと見込まれています。

県立高等学校再編計画第2期実施プログラム案 《第6学区〔山武〕版》

第2期実施プログラム案の概要



再編対象高校 Q & A



第1期実施プログラム再編校の松尾高校では、平成18年度からの共学化に合わせて、ホームヘルパーの資格が取れる福祉コースの開設準備を進めており、皆様から期待が寄せられています。



Q どうしてこの2校になったの？

A 生徒にとって、広域から通いやすく進路選択幅の広い、魅力的な高校とするために、大網白里町内の専門高校と普通高校との統合案としました。

Q 山武農業高校が農業単独校である必要はないの？

A 高校再編で各校が元気のある学校になってほしいと考えています。どんどん小さな高校になるより、近隣の学校と統合する方が、農業教育も含めて学校が活性化すると考えています。

Q 山武農業高校と白里高校は、統合してどんな学校になるの？

A 山武農業高校が担う地域の中心産業を支える農業教育と、白里高校が担う普通教育の伝統を引きつぎ、充実を図るとともに、両学科の枠を超えた学習も可能な学校にしたいと考えています。

Q 白里高校の敷地や校舎はどうなるの？

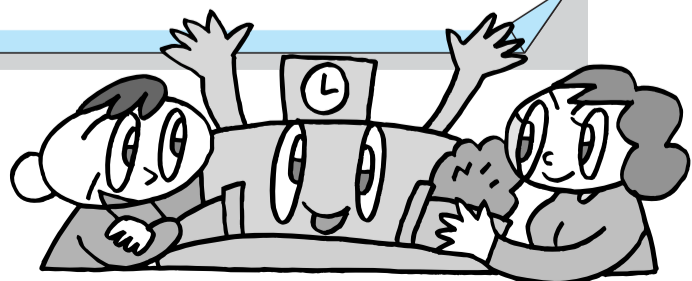
A 現在は白紙ですが、プログラム決定後に、地元等の意見を聞きながら活用方法等を検討していきます。

Q 町の人口は増えているのに、なぜ、統合するのですか？

A 第6学区(山武)の中学校卒業生数は減少傾向であり、将来は学区内の全校で小規模校化が見込まれます。そのため、統合により学校規模を維持することにしました。

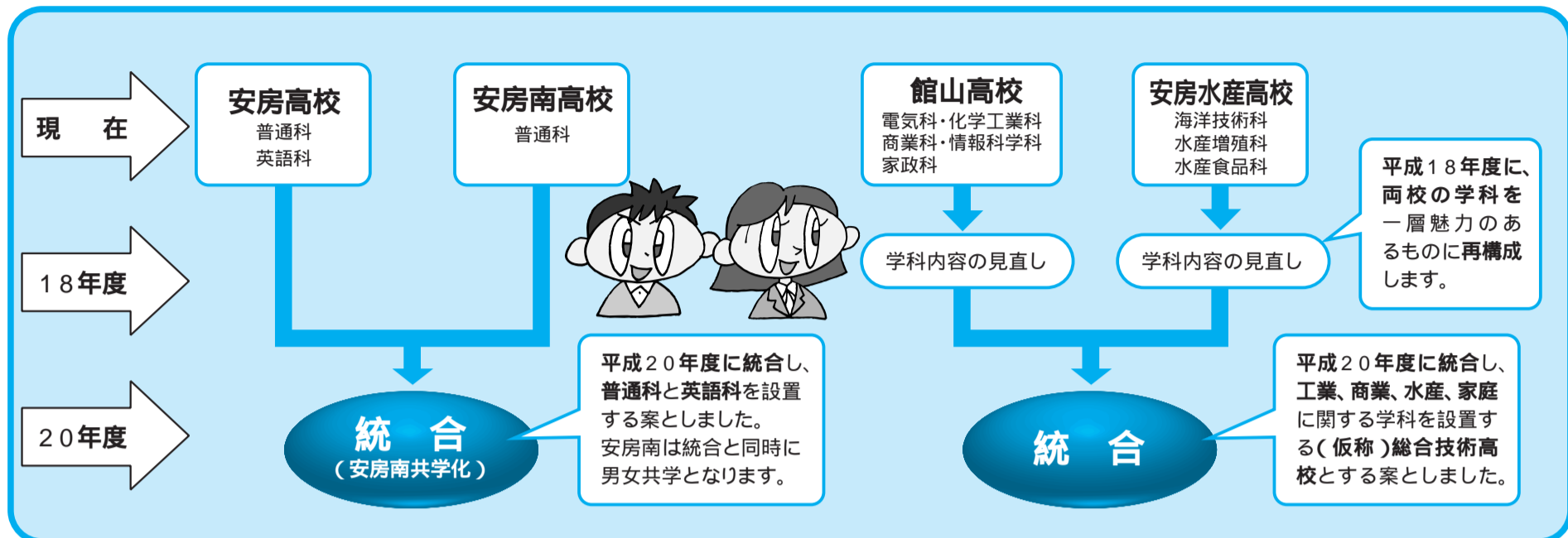
Q 大網白里町以外の学校の再編はどうなっているの？

A 今回発表したプログラム案では、大網白里町内の学校の再編が主となっていますが、既に、第1期プログラムでは松尾高校の共学化が行われています。この再編は平成23年度末までを計画期間としておりますので、他の学校についても、今後検討を加え、再編の必要があれば具体的なプログラムを考えていきます。



県立高等学校再編計画第2期実施プログラム案 《第8学区〔安房〕版》

第2期実施プログラム案の概要



再編対象高校 Q & A



第1期実施プログラムでは、安房農業高校に平成17年度から総合学科を設置することにしました。現在、普通科目や今までの農業科目を生かした学習内容について検討しています。また、平成16年4月からの校名も「安房拓心高等学校」に決まり、在校生や先生方も気持ち新たに、より魅力ある学校を作ろうと頑張っています。

Q 安房高校と安房南高校は、統合してどんな学校になるの？

A これまでの伝統を引き継ぎながら、様々な興味や進路希望などに対応した科目を設けたり、地域の進学の中心校として、充実した進路指導を実施していくことなどを考えています。



Q 館山高校と安房水産高校は、統合してどんな学校になるの？

A 工業、商業、水産及び家庭の各科目について、学科の枠を越えた学習もできるような教育課程を持つ(仮称)総合技術高校を考えています。就職・資格取得・進学など、様々な興味や進路希望に対応した、新しいタイプの専門高校です。

Q なぜ、2組も統合を行うのですか？

A 安房地域ではピーク時の平成元年には、中学校卒業生数が2,712人でしたが、平成24年には約40%の1,100人程度になると見込まれ、学校は今より一層規模が小さくなってしまいます。このことから活力と魅力にあふれる学校生活を送れるよう、普通科高校同士と専門高校同士の統合を考えました。



Q 水産の単独校は必要ないの？
水産の学習内容はどうか？

A 水産高校は小規模校化しているため、統合する案としましたが、他の学科の科目も学習することで、様々な進路を考えることができるようになります。水産では、獲る、つくる、育てる漁業の分野の他、海洋スポーツの分野も学習できるようになります。

Q 学校数が少なくなってしまうと、興味や進路に合った学科も無くなってしまふのでは？

A 今までの専門学科の学習内容をニーズに合った内容に見直しながら、地域全体から見れば、普通科の他、農業、工業、商業、水産や家庭等の専門分野が学習できるようにすることを考えています。

Q 再編後の学校名はどうなるの？

A 生徒・保護者・同窓生・地域の方々などの御意見を伺いながら、各学校にふさわしい校名を、今後、検討していきます。

Q 館山高校の校舎と安房水産高校の校舎間の移動はどうするの？

A 時間割や日課等を工夫しながら、生徒が無理なく両校の校舎を利用し学習できるように検討していきます。